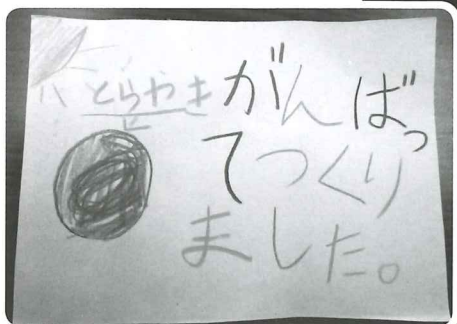




社協だより

ボランティア体験プログラム(クッキングボランティア)

夏休み中に開催した「ボランティア体験プログラム」に、大勢の小・中・高校生が参加しました。7月25日には、小学生がおやつを手作りして、小鹿野デイサービスの利用者さんに手渡して、交流を図りました。



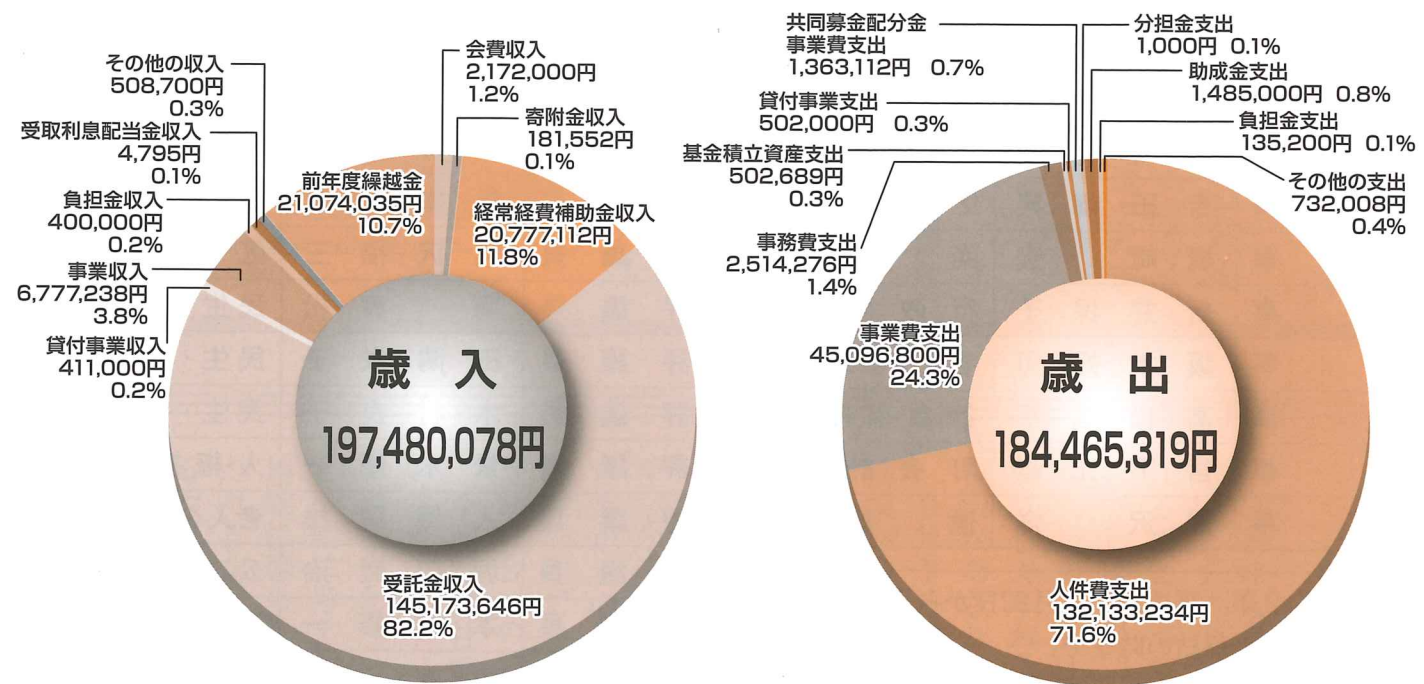
目次	◆平成28年度事業報告と決算……………P2～3	◆両神12区地域づくりの紹介……………P8～9
	◆理事・監事・評議員の改選……………P4	◆いきいきサロンの紹介……………P10
	◆日章旗返還・会長コラム……………P5	◆ボランティア体験プログラム……………P11
	◆日赤会員増強運動……………P6	◆各種事業のお知らせ……………P12
	◆共同募金運動について……………P7	



◆ 社協だよりは、赤い羽根共同募金の分配をうけて発行しています。 ◆



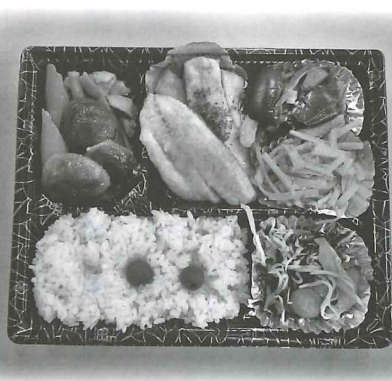
- (1) 13 受託事業
デイサービスセンター運営事業
(町より3か所を受託)
利用者 述べ 14, 215人
地域活動支援センター運営事業
おがのふれあい作業所
利用日数 195日
延べ人数 2, 534人
いきいきサロン事業
(介護予防ケアマネジメント事業)
会場数 110会場
述べ参加人数 1, 453人
その他
社協だより発行(年4回)
福祉団体助成
小鹿野町民生児童委員協議会活動費助成
日本赤十字社員増強運動月間
小地域福祉活動(自主サロン)
モデル地区5か所



福祉のまちづくりのため、さまざまな地域福祉の活動に取り組んでおります。



小地域福祉活動(自主サロン)
地域の交流を図り、地域づくりを進める活動です。会食会や世代間交流等行っています。



単身高齢者の配食サービス
ボランティア団体の皆さんの手作りお弁当を、民生委員さんにお届けいただいています。



ハッピー・パートナー(福祉有償運送事業)
通院や買い物等の移動の支援を行っています。

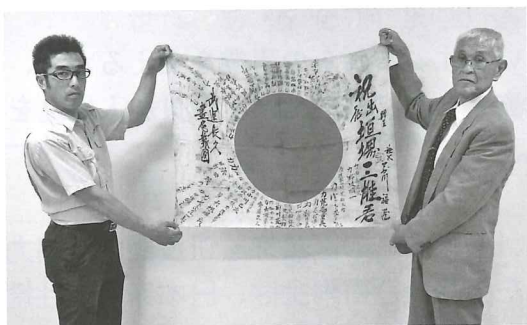
平成28年度 事業報告と決算

社会福祉協議会の理事会と評議員会が開催され、平成28年度事業報告と決算が承認されましたのでご報告させていただきます。



- 1 会務の運営
理事会の開催(3回)
評議員会の開催(3回)
監査会(1回)
選任・解任委員会(1回)
- 2 児童福祉事業
児童がスポーツを通して、健全な心身を育むことを目的として実施しました。
(1) 子供球技大会助成
ソフトボール・ポートボール
第44回少年剣道大会協賛
- 3 母子父子福祉事業
母子父子家庭の親子の絆を深めていただくため、施設の利用料を助成しました。
(1) 両神温泉薬師の湯利用料助成
施設利用 大人48名 子供20名
食事券利用 37件
- 4 老人福祉事業
自ら積極的に活動している老人クラブへの助成、一人暮らし高齢者の安否確認を目的とした配食サービス等を行いました。
(1) 老人クラブ活動助成
(2) 敬老会の開催(町共催)
(3) 弔辞の交付 224名
(4) 単身高齢者配食サービス事業 7・8月を除く年10回 述べ3, 389名
- 5 障害者福祉事業
相互の親睦を深めるとともに社会参加の機会を図るために助成等を行いました。
(1) 身体障害者福祉会活動助成
- 6 戦没者遺族福祉事業
(1) 遺族会活動助成
(2) 忠魂碑等参拝(3月)
- 7 福祉援護対策事業
(1) 通所介護サービス事業(小鹿野・両神・倉尾デイサービスセンター)
(2) 声の広報「おがの」作成、配布(毎月)
(3) 地域活動支援センター事業(おがのふれあい作業所)
- 8 地域福祉対策事業
(1) ボランティア団体活動費助成 4団体(赤十字奉仕団、虹の会、ヘルパーコスモスの会、福寿の会)
(2) ボランティア体験プログラム事業 介護、保育等施設でのボランティア・炊き出し訓練・町内の清掃活動、絵手紙制作など
(3) 第25回秩父郡市福祉ゲートボール大会 延べ 149名参加
- 9 共同募金事業
(1) 赤い羽根共同募金 実績額 1, 446, 577円
(2) 歳末たすけあい募金 実績額 1, 340, 910円
配分額 1, 085, 282円
- 10 福祉有償運送事業
登録者数 428人
利用件数 1, 848人
- 11 相談事業
心配ごと相談所開設
相談件数 8件
- 12 資金貸付事業
生活福祉資金貸付 25件

平成29年6月8日(木)
午前9時30分返還式実施



(右) 小鹿野町遺族会副会長 茂木 武夫 さん
(左) 垣堺 貴之 さん

日章旗72年ぶりの返還

第二次世界大戦時、小鹿野町から多くの兵士が戦地へと向かいました。その中で、この度72年もの年月を経過し、故郷の小鹿野町へ1枚の日章旗が返還されました。

持ち主は、垣堺 三雄さん(故)です。

垣堺さんは、元陸軍兵長として出兵され、遠くフィリピンのマニラ支部配属となり、離島への軍需品輸送に活動されました。

その後、セブ島へ渡り、終戦まで同島で過ごし、ご病気のためレイテ収容所に入院中の昭和20年9月25日に、そのご生涯を閉じられました。享年29歳でした。

日章旗は、アメリカの慈善団体により持ち主の調査が行われ、遠い海外から町内在住の垣堺貴之さんのもとへ日章旗が返還されました。貴之さんは、三雄さんのお孫さんにあたられ、「墓前で、祖父に『返還されたよ。』と報告したいです。」と日章旗を見つめながらお話をくださいました。

会長コラム

9月に入り、暦の上では秋になりましたが、厳しい暑さが続いています。少しずつではありますが、暑さの中にも新涼を感じられる頃となってきました。皆様におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。

九州地方をはじめ、各地で豪雨等自然災害の被害に遭われた皆様に心よりお見舞いを申し上げます。皆様のご無事と一日も早い復旧がなされますようお祈り申し上げます。

9月1日は「防災の日」です。この日付は、大正12年の関東大震災が発生した日にちなんで制定されたそうです。いつどのよう起こるか分からない台風、高潮、津波、地震等の災害についての認識を深め、これに対処する心構えを準備することを目的としています。

小鹿野町では6月に自衛隊と共に開催した全国統一災害訓練や、赤十字奉仕団の協力のもと、炊き出し訓練を実施しています。日常からの備えが、いざという時に自分の身を守ります。また、地域の中で日頃からの関わりが、「困った時はお互いさま」という助け合いの気持ちにつながるのではないかと考えています。

小鹿野町社協では、「地域福祉活動計画」の策定に取り組んでいる最中です。これは、地域の福祉力を高めるために、自分の町の福祉をどういうふうにしていきたいかといったものを、皆さんと一緒に考え、具体的な指針や取り組みを言葉で表したものです。地域に暮らしている住民の皆さんのご意見を伺い、お力添えをいただながら、さらなる地域福祉の発展に職員一同、努めてまいります。今後とも変わらぬご指導・ご協力をお願い申し上げます。

小鹿野町社会福祉協議会長 福島 弘文

理事・監事・評議員の改選について

平成29年4月1日施行の改正社会福祉法に基づき、役員(理事・監事)・評議員が下記のとおり選任されましたので、ご紹介いたします。

役職名	氏 名	選出区分
理事(会長)	福 島 弘 文	行 政 関 係 者
理事(副会長)	丸 山 陽 生	区 長 会
理事(副会長)	多比良 キヨ子	民生・児童委員
理 事	皆 本 富 男	議 会 関 係 者
理 事	中 紀 雄	教 育 委 員 会
理 事	佐 藤 恭 平	区 長 会
理 事	山 崎 勉	区 長 会
理 事	吉 田 恭 典	区 長 会
理 事	岩 崎 宏	商 工 会
理 事	新 井 保 子	行 政 関 係 者
理 事	坂 本 好 司	老人クラブ連合会
理 事	高 橋 唱 平	社会福祉施設
監 事	宮 下 光 雄	町 会 計 監 査
監 事	黒 沢 洋	遺 族 会

任期：約2年(平成29年6月22日から平成31年度定時評議員会の終結の時まで)

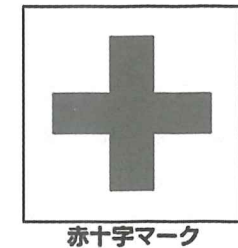
役職名	氏 名	選出区分
評 議 員	強 矢 好 光	議 会 関 係 者
評 議 員	高 橋 毎 保	区 長 会
評 議 員	原 口 悟 志	区 長 会
評 議 員	笠 原 実	区 長 会
評 議 員	井 上 要 作	区 長 会
評 議 員	勅使河原一郎	区 長 会
評 議 員	入 澤 吉 二	区 長 会
評 議 員	坂 本 貞 徳	区 長 会
評 議 員	黒 沢 福 三	区 長 会
評 議 員	南 寅 松	民生・児童委員
評 議 員	田 嶋 栄 子	民生・児童委員
評 議 員	木 村 良 子	民生・児童委員
評 議 員	常 木 修 一	人 権 擁 護 委 員
評 議 員	入 澤 民 雄	老人クラブ連合会
評 議 員	堀 口 武 治	公 民 館
評 議 員	本 間 修 一	医 師 会
評 議 員	坂 本 旭	小・中 P T A
評 議 員	笠 原 憲 一	社会教育関係者
評 議 員	久 保 勲	保 護 司
評 議 員	宮 田 か ね	更生保護婦人会
評 議 員	関 口 嘉 彦	遺 族 会
評 議 員	岩 本 直 樹	青少年相談員
評 議 員	福 田 慶 子	日 赤 奉 仕 団
評 議 員	坂 本 かつみ	ボ ラ ン テ ィ ア
評 議 員	黒 田 三代子	ボ ラ ン テ ィ ア
評 議 員	黒 沢 和 夫	ボ ラ ン テ ィ ア
評 議 員	小 菅 義 和	学 識 経 験 者
評 議 員	加 藤 雄 三	社会福祉施設

任期：約4年(平成29年4月1日から平成33年度定時評議員会の終結の時まで)

平成29年度 赤十字会員増強運動

日本赤十字社

人道・博愛の精神に基づき、国内や世界の災害救護活動、医療・福祉活動を行っています。



これらの事業資金は、皆様のご支援によってまかなわれています。これらの事業を支えるため、1人でも多くの方々に赤十字活動をご理解いただき、必要な活動資金をご支援いただく会員加入促進を図ることを目的に「赤十字会員増強運動」を全国的に展開します。

町でも5月1日より「赤十字会員増強運動月間」として、各行政区の区長様、班長様にご協力をいただき実施することができました。ご協力いただきました会費及び寄附金は、日本赤十字社埼玉県支部へ送金し、災害救護活動、医療事業、血液事業など様々な事業に活用されます。

ここに結果をご報告いたしますとともに厚くお礼申し上げます。

結果報告 実績額 1,091,269円

行政区	金額	行政区	金額	行政区	金額	行政区	金額
小鹿野 1	17,000	長 若 2	4,000	三田川 5	4,400	両 神 1	22,000
2	44,000	3	10,000	6	8,400	2	22,400
3	43,400	4	5,200	7-1	4,000	3	46,500
4	17,000	5	12,500	7-2	1,400	4	19,600
5	2,000	6	8,200	8	2,600	5	8,800
6-1	15,400	7	5,000	9	4,000	6	18,000
6-2	14,600	8	3,000	10	10,000	7	6,000
7	25,000	9	4,400	11	5,800	8	3,200
8	58,000	10	6,800	12	5,400	9	12,800
9	25,100	11	6,600	小 計	146,000	10	39,000
10	24,800	12	4,000			11	8,800
11	42,400	13	7,800	倉 尾 1	5,800	12	7,600
12-1	18,000	14	4,400	2	5,600	13	4,800
12-2	25,000	小 計	88,300	3	5,800	小 計	219,500
13	25,000			4	4,600		
14	14,800	三田川 1-1	18,600	5	3,600	日赤奉仕団	3,569
15	5,400	1-2	34,000	6	4,000	特別会費	169,000
小 計	416,900	2	13,200	7	5,400	個人	8,200
		3	26,000	8	5,000		
長 若 1	6,400	4	8,200	小 計	39,800	合 計	1,091,269

共同募金運動 皆様のご協力をお願いいたします

10月1日から翌年3月31日までを共同募金運動期間として、全国一斉に取り組んでいます。
小鹿野町で実施する共同募金運動は「赤い羽根募金」と「地域歳末たすけあい募金」です。
この募金運動は、福祉活動への参加のひとつとして、みんなで支え合い、地域福祉のため、支援を必要としている方が地域で安心して生活することができるように行うものです。

共同募金は、町の福祉活動に活用しています。

共同募金は、地域ごとの使い道や集める額を事前に定めて、募る仕組みで、「計画募金」と呼びます。計画に基づき、目標額を事前に設定しているため、1世帯あたりの目安額を示していますが、強制や割り当てをするものではありません。
各行政区長などを通じて、各世帯に協力をお願いする募金です。

募金の種類

戸 別 募 金	区長等を通じて、各世帯に協力をお願いする募金です。
街 頭 募 金	商店街、イベント会等人が集まる場所で協力をお願いする募金です。
学 校 募 金	学校と連携しながら、福祉教育の一環として取り組む募金方法で、共同募金を通じたボランティアへの参加であることに主眼をおいて実施します。
職 域 募 金	事業所や団体の職場で務める方を対象として、クオカードやバッジなどを活用して協力をお願いする募金です。
個人大口・法人募金	特に理解のある個人・法人を対象に協力をお願いする募金です。

皆様からの募金

埼玉県共同募金会



赤い羽根募金：翌年分配
歳末たすけあい募金：12月分配

助成金の使いみち

障害のある方の支援や、社会的援助を必要とする高齢者への支援、災害の対応や日常の防災目的とした活動等、「自分の町を良くする活動」に充てられます。

福祉団体の助成・青少年の健全育成・敬老会・高齢者趣味の作品展・母子父子福祉事業・在宅要支援者慰問・寝たきり高齢者慰問・単身高齢者慰問 等

「赤い羽根」クイズ

問1：羽根を使った募金は7種類あった（赤・青・黄・白・緑・水色・黒）？

答え：○（赤…共同募金 青…水難救助 黄色…医療バンク（腎臓移植などの支援） 緑…緑化運動 水色…水難遺児の援助・海岸の環境美化 黒…炭鉱事故・遺族の支援（一時石炭は黒いダイヤと呼ばれていました））

問2：ミッキーマウスは悪者と戦う時、赤い羽根をつけていた？

答え：○（アメリカンインディアンは生きている鷹の羽を赤く染め、手柄を立てた時それを冠につけたという話が元になっています。三銃士やロビンフッドの帽子にも赤い羽根がついていて、これは正義の印だそうです。）

一日一日、健康に過ごす



ただ散歩するだけでなく、「花を植えたら、それを見ながら散歩するのもいいんじゃない？」そんな発想から、道沿いに皆さんで花を植えました。(バス停・遊歩道にプランター設置)



【民生委員さんより】

最近、外出が減った方がいました。花を植えると、カートを押して道路を散歩している姿を見かけました。隣のお宅に行ったりと、活動が増えたみたいです。「よかったなあ。」とうれしくなりました。そんな唯一の遊歩道が、出会いの場となるといいですね。

そっと見守り



将来、1人暮らしの高齢者の方が増えることは予想されます。地域も人が減っていきます。その中で、安心してみんなで暮らすためにできることは何か？

「安心の黄色いバンダナ」計画、試運転！

朝、玄関先に黄色いバンダナを掲げて、夕方にはしまうことで、元気で過ごしていることを、周りの人に伝えてはどうか？

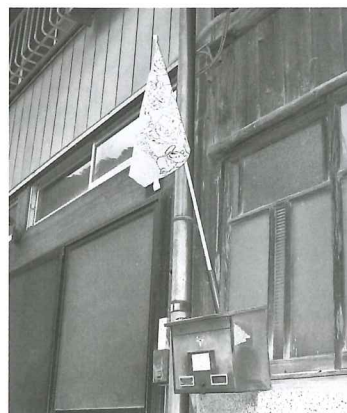
「朝出して、夕しまうんじゃ、めんどくさい。」「毎日じゃ大変だ。」など、様々な意見が出ました。そこで、少人数で実際にモデル的に試してみることにしました。

現在、試運転中です。

【健康サポーターさんより】

向こう三軒両隣を基本として、見守り・安否確認ができれば理想かと。人によって希望する見守りの方法も考え方も様々です。

黄色いバンダナは、100円均一で購入して自分で作ってみました。



両神12区の皆さんは、区長・民生委員・健康サポーター等、地域の役員さんが中心になって、みんなで安心して暮らせる地域をみんなでつくろうと、取り組んでいます。社協もできる範囲でお手伝いしております。次回も他の地域の取り組みをご紹介しますと思います。

地域づくりの取り組みのご紹介

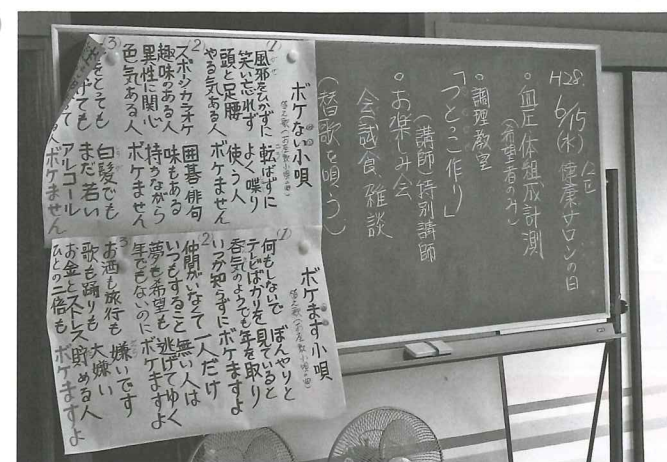
各地域の特色に合わせて、その地域に暮らす皆さんがアイデアを出し合って、楽しく誰もが参加できる地域づくりが行われています。

今回は、「両神12区」の皆さんの地域づくりをご紹介します。



毎月第2水曜日には、12区集会所に集まり健康サロンが催されています。

声かけや運営は、民生委員さんや健康サポーターさんが中心になっています。



健康サロンの内容（一例）

お茶のみ、おしゃべりをしながら

- つとつこ作り ●ピザ作り ●ミューズパーク散策
- 健康講話（町立病院 内田医師、認知症予防士 三澤さん、なごみ整体院 鎌田先生）
- 輪投げ大会 ●歌を歌う など

地区の皆さんが参加する機会が増えると、畳での立ち座りが、膝や腰が痛い方には大変です。

区長さんが、椅子やテーブルの手配をしてくれました。集会所も利用しやすいように関係機関に働きかけてくださいます。



人が集まると、色々な話になります。「自分たちの地域で、これからずっと安心して暮らすには、今から何が自分たちでできるんだろう？」

「できることから、少しずつ。無理をしないで続けられることを、まずはやってみよう！」と地域の声があがりました。

ボランティア体験プログラム

ボランティア活動のきっかけづくりとして、夏休みの期間中に開催しました『ボランティア体験プログラム事業』に、今年も町内の小・中学生、高校生を中心に多くの方に参加していただきました。ボランティア体験を通じて、社会へのつながりを広げ、地域福祉活動への理解、関心を深めることができたと思います。

施設・団体の皆さまには、受け入れにご協力いただき、ありがとうございました。



炊き出し訓練



いきいきサロン
ボランティア



デイサービスでの介護体験



まごころメール
町内の単身高齢者の方への残暑見舞いを描きました



子育て支援センター
ボランティア



いきいきサロン通信



認知症サポーター養成講座
こじか筋トレ体験 (三田川2区)



会食会 (カレー) (倉尾4区)



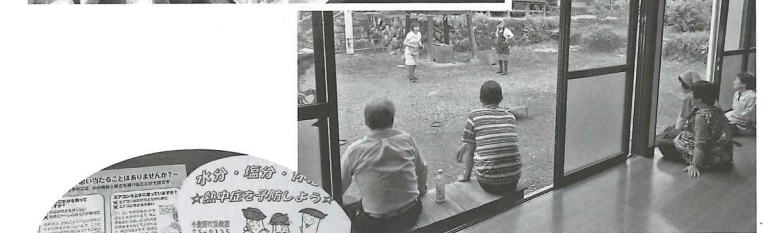
ボールを使っの体操
(小鹿野13区)

各地の集会場等をお借りして、地域の皆さんのご協力のもとで開催しています。一部の内容をご紹介します。

「こんなことをみんなとやってみたい!」というご要望がありましたら、お気軽にお声かけください♪



うどんとかき揚げづくり
輪投げ大会 (三田川11区)



保健課からは、「熱中症について」お話をいただきました。

身近なところで
さろん♪始めました!



みんなで
お茶のみながら、
おしゃべり♪



おやきも
美味しく
できました!

6月は「おやき作り」

おしらせ

両神10区の取り組みは、次回の社協だより(97号)で詳しくご紹介したいと思います。

両神10区では、福寿の会の協力で2月に会食会を開きました。その後、「もっと集まりたい!」という地域の皆さんの声から、9月より毎月第1木曜日に「わくわく茶ロン(さろん)」を始めることになりました。

老連グラウンドゴルフ大会 が開催されました

7月20日(木) 下小鹿野グラウンドにて老人クラブ連合会グラウンドゴルフ大会が開催されました。暑い日差しの中でしたが、85名の老人クラブ会員の皆さんが元気に、いきいきとプレーし、熱戦を繰り広げておりました。



おがの七夕フェスティバル に参加しました

8月5日(土)に小鹿野町商店街を会場に『おがの七夕フェスティバル2017』が開催され、赤十字奉仕団、中学生ボランティアとともに模擬店を出店しました。赤十字奉仕団の皆さんには、「みそポテト」の調理と、販売をしていただきました。中学生ボラ

ンティアは、テントの設営、模擬店の準備、みそポテトの販売活動や街頭募金活動を元氣よく行っていたいただきました。



あたたかい心を ありがとうございます

地域福祉に役立てて欲しいと寄附をいただきました。

埼玉土建秩父支部西秩父分会より

6,110円

匿名希望様より ギター2本等

匿名希望様より タオル等

山田近子様より 紙おむつ等



寄附いただいた方のご要望に沿って、寄附いただいたギター一式は、全てギターサークルへ贈呈いたしました。

心配ごと相談所

ひとりで悩まないで、気軽に相談ください。相談は無料で秘密は守られます。

◎相談日時

毎週木曜日 10時～15時

◎相談場所

社会福祉協議会 相談室

(第3木曜日は両神振興会館)

※事前予約は必要ありません

小鹿野高校ボランティア部

ペットボトルキャップ回収

社協玄関設置BOX回収結果

4月 28,638個

5月 36,722個

6月 27,090個

長寿ハウスで、誰でも気軽に日中いつでも立ち寄れる「将棋のつどい」(仮称)を準備中です!

※使用しなくなった将棋の駒や盤の寄附をいただける方、お待ちしております。

キャップは再生プラスチック原料として換金され、医療支援・ワクチン支援・障がい者支援、子供達への環境教育等、様々な社会貢献活動にあてられます。

編集後記

いきいきサロンを担当している市川です。

サロンは各地の集会所等に向って、簡単な体操をしたり、ゲームをしたり、お茶のみをしたり、地域の方であれば誰もが参加いただけるつどいの場です。

今回のサロンでは輪投げを行っています。町では健康づくりとして町民輪投げ大会を毎年10月に開催しています。私も、輪投げをしてみました。なかなか思うように入りません。欲が出て、狙いを定めると、必ずと言っていいほど、見当違いの方に輪っかが飛んでいきます。

地域の方で、輪投げのプロのような上手な方がいらつやいます。じーつと観察していると、少しずつ場所をかえたり、まっすぐ投げていたり。まねをするのですが、一朝一夕では難しいですね。どなたでも楽しめる輪投げです。一緒にいかがでしょうか?(市川)

編集・発行

社会福祉法人
小鹿野町社会福祉協議会

〒368-0105

小鹿野町小鹿野300番地
(児童館内)

電話 75-4181

FAX 75-4561

<http://www.ogano-syakyo.or.jp/>